



古 考える葦



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
平成30年度 NO.5
平成30年9月4日
発行責任者 梶原 和子

始まる前は長いと思った夏休みもあっという間に終わってしまいました。皆さんはリフレッシュできましたか。やり残したことはありませんか。夏休みが終わってしまったのは少し残念ですが、早めに生活のリズムを取り戻しましょう。夏休み中は事故もトラブルもなく、9月3日にはたくさんの日焼けした元気な顔に会えて嬉しかったです。

まだまだ暑い日が続いていますが、それでも日差しは少しずつ秋めいた感じになってきました。これから勉強に運動にちょうど良い季節になります。今まで以上に勉学に励み、体を鍛えて欲しいと思います。

さて、毎年第4、5学年対象に実施されている、「とちぎっ子学習状況調査」、第6学年対象の「全国学力・学習状況調査」の結果が県教委より送付されましたので、本校の状況について速報としてお知らせいたします。この結果をきちんと分析し、課題を改善し本校児童の学力向上につなげていくよう、指導の工夫改善に努めて参ります。

【学力調査結果】（栃木県平均正答率との比較）

- 実施日 平成30年4月17日（火） ○実施学年 第4、5、6学年
- 実施教科 国語、算数、理科（問題は、「基礎・基本」、「活用（思考・判断・表現）」）
- ◎ 上回っている（5ポイント以上） ○ やや上回っている（5ポイント未満）
- － 同程度（±1ポイント程度） ▽ 下回っている



【4年生】

国語		算数		理科	
総合	◎	総合	◎	総合	◎
基礎	◎	基礎	◎	基礎	◎
活用	○	活用	◎	活用	◎
話すこと 聞くこと	－	数と計算	◎	物質 エネルギー	○
書くこと	○	量と測定	◎		
読むこと	◎	図形	◎	生命	◎
※伝国	◎	数量関係	◎	地球	◎

【5年生】

国語		算数		理科	
総合	○	総合	▽	総合	－
基礎	○	基礎	▽	基礎	－
活用	○	活用	▽	活用	－
話すこと 聞くこと	▽	数と計算	▽	物質 エネルギー	－
書くこと	○	量と測定	▽		
読むこと	○	図形	◎	生命	－
※伝国	○	数量関係	－	地球	－

【6年生】

国語A		国語B		算数A		算数B		理科	
全体	○	全体	○	全体	－	全体	○	全体	◎
話すこと 聞くこと	◎	話すこと 聞くこと	○	数と計算	○	数と計算	○	知識	◎
書くこと	▽	書くこと	◎	量と測定	▽	量と測定	○	活用	○
読むこと	◎	読むこと	◎	図形	○	図形	－	物質	○
※伝国	－	※伝国	◎	数量関係	－	数量関係	○	エネルギー	○
								生命	◎
								地球	◎

※伝国・・・伝統的な言語文化と国語の特質に関する問題



<傾向と課題>

4年生

- ※全体的には良好な結果でした。ただ、学年が上がると学習内容も変わりますし、難しくもなってきます。この結果に満足しないで、これからも計画的に学習に取り組めば、より一層伸びると思われまます。頑張りましょう。
- 国語については、「書くこと」において、課題が残る結果となりました。「報告レポートの作成」にだいぶ苦戦しているようです。本校でも「書くこと」を重点課題としており、授業中に書く活動をたくさん取り入れるよう、指導しています。
- 算数については、「量と測定」に課題が残りしました。今回の設問の中では特に、「時ごとと時間」「棒グラフ」に躓いている児童が多かったようです。授業において再確認するとともに、夏休み中に教科書をしっかりと見直すなど、復習することを勧めます。
- 理科については、「光、電気、天体」の内容において、学習内容の理解が不足している傾向が見られました。教科書をよく見直し、正しく理解するように努めるといいでしょう。

5年生

- ※全体的に、各教科、領域とも課題が残る結果となりました。県平均を下回っている部分に関しては、重点的に取り組む必要があります。特に算数、理科については4年生の学習内容の再確認と理解に努めましょう。
- それ以外では、国語の「説明文の内容の理解」、算数の「面積・角の大きさ」、理科の「季節と生物」「天気」に関しては、今年度の内にきちんと復習し、わかるようにすることが大切です。授業においても再度問題を解かせ、躓いている部分の確認、修正をし、正しい理解につなげて参りたいと思いますが、学習の定着には家庭学習がとても大切です。少なくともドリル学習、読書はしっかりと行いましょう。前日に次の日の学習内容について教科書を読むだけでも違います。できる人は、復習だけでなく予習も行いましょう。
- 毎日決まった時間に家庭学習（予習・復習）をしっかりと行くと、学習効果はより一層上がります。どうぞよろしくお祈りします。

6年生

- ※全体的には、概ね良好な結果でした。ただ、算数に関しては課題があると思われます。教科によっても、その領域によって結果にむらが見られました。安定した力をつけるためには、毎日地道な努力を続けることが大切です。中学生になると、学習内容も難しくなり、学習内容も増えます。そのときになって慌てることのないよう、今からしっかりと取り組みましょう。
- 国語に関わらず、どの教科もそうですが、必ず自分の考えを書く習慣をつけると良いでしょう。特に、誤答はどうして間違ってしまったのか確認し、考え方を修正していくことが大切です。算数などは、立式の過程も書いて残し、見直しに活用するようにすると後々理解が進みます。書くことによって、落ち着いてじっくりと考える習慣が身につくし、思考の過程も意識することができます。書くことは面倒なことですが、ぜひ心がけて欲しいと思います。
- これからは、毎日決まった時間に最低1時間は自主学習をすることをすすめます。また、復習だけでなく予習も行いましょう。卒業までには小学校の学習で積み残しのないようになりたいものですね。

【児童質問紙から】

本校児童の全体的な傾向として、今回は学習面について全国や県平均と比較して、顕著に低いところをお知らせします。他は、次号で紹介します。

- 1家で、自分で計画を立てて勉強をしている
- 2家で、学校の授業の予習・復習をしている
- 3算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う
- 4算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている
- 5社会のことがらや自然のことがらに「不思議だな」「おもしろいな」などと思う
- 6課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる
- 7自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する

※予習・復習を計画的に行うことを心がけましょう。本人たちもやっていないことを自覚しているようです。ここが改善されればまた一歩伸びると思います。そして、新たな課題にチャレンジすることや、自力解決をしようという意識もやや低いことがわかりました。「できる楽しさ」「できたという実感」を味わうことで、学習に対する意欲も向上します。算数については、意味の理解が十分でないことが原因のようです。予習して学習内容を把握してから授業に臨み、家で復習すると理解が定着します。また、日頃の生活の中で「不思議だな」「おもしろいな」と感じる子ども少ないという現状でした。積極的にいろいろチャレンジし、自分の感性を磨くようにしましょう。

※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載していますのでぜひご覧下さい。
学校HPアドレス http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/

こちらからもご覧になれます 



石橋中学校の生徒が職場体験にやってきました！